

授業科目名 ( 英文名 )	総合ゼミ ( Synthetic Seminar )	科目区分 対象学生	
単位数	2.0	開講年次・ 学期	4年次・前期
担当教員	池田 雅則	所属	看護学部
オフィス・場所		連絡先	
講義目的及び到達目標	<p>テーマ 「困ってるこども」への理解          経済、発達、健康、家庭環境、人間関係などの問題で「困ってるこども」が少なくありません。かれらの存在に目を向け、その実態を知り、どのような支援ができるのかについて考えます。本年度は、「発達障がい」「いじめ」「虐待」等に焦点を当てます。</p> <p>到達目標は、検討文献を正しく理解し客観的に批評できる力を身につけること、積極的に議論と調査を通じた成果をレポートにまとめる力を身につけることである。</p>		
講義内容・授業計画	<p>授業内容          問題の把握          担当教員によるゼミの趣旨説明、および基礎文献の検討を通して問題の共有化を図ります。</p> <p>リサーチとプレゼンテーション          受講生は、「困ってるこども」に関してグループでテーマを選択します。グループで分担を決め、基礎的な文献のリサーチを行います。そして、リサーチにもとづくプレゼンテーションを行い、課題への理解を深めます。</p> <p>事例検討と模擬的实践          「困ってるこども」への対応事例についてグループで検討します。そして、場面に応じた支援について模擬的な実践を試みます。</p> <p>授業計画</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 ガイダンス</li> <li>2 「困ってるこども」についての概要説明</li> <li>3 基礎文献の検討、議論</li> <li>4 基礎文献の検討、議論</li> <li>5 基礎文献の検討、議論</li> <li>6 受講生の課題設定</li> <li>7 受講生の課題設定</li> <li>8 受講生の基礎調査</li> <li>9 受講生の基礎調査</li> <li>10 受講生の報告と議論</li> <li>11 受講生の報告と議論</li> <li>12 受講生の報告と議論</li> <li>13 事例検討と模擬的な実践</li> <li>14 事例検討と模擬的な実践</li> <li>15 総合討論</li> </ol>		
テキスト	必要に応じて配布する		
参考文献	適宜紹介する。「困ってるこども」にかかわる大人たちについて書かれた入門書として、汐見稔幸編『子どもにかかわる仕事』（岩波ジュニア新書、2011）を挙げておく。		
成績評価の基準・方法	<p>成績評価の基準          検討文献を正しく理解し客観的に批評できる力を十分に身につけている、また積極的に議論と調査を通じた成果をレポートにまとめる力を身につけている者に単位を授与する</p> <p>成績評価の方法          検討文献の検討：20%程度、調査と議論への参加：20%程度、課題設定と中間報告：20%程度、まとめレポート：40%程度</p>		

履修上の注意・履修要件	
実践的教育	該当しない
備考	